

令和6年第7回定例会

議案説明資料

提出課： まちづくり課

議案番号	102	令和6年度大山町一般会計補正予算(第5号)				
(提案理由 及び 議案概要)						(単位:千円)
款	10 総務費	項	5 総務管理費	目	6 企画費	
事業番号	9	事業名	企画費(一般)			
補正前	今回補正額	今回補正額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
64,177	476					476
補正理由・事業概要				今回補正額の経費内訳		
<p>○まちづくり課職員の人件費 扶養替えによる児童手当の増(2人→3人)</p> <p>○全国過疎問題シンポジウム2024inやまなしへの参加旅費 2025年の全国過疎シンポジウムが鳥取県で開催が決定し、全体会・分科会・現地視察の会場となる。開催地である鳥取県内の市町村の中から過疎地域持続的発展優良事例の推薦を行い、優良事例表彰(推薦)を受けた市町村は、例年分科会の開催地となっている。 大山町は、地域自主組織の取り組みについて県から鳥取県西部の推薦候補として有力視されており、分科会の開催地になる可能性が高いことから、R6.10.24～25に行われる山梨県でのシンポジウムへ参加し、当日の運営方法などを参考としたい。準備や運営等広く細部を見て理解するため、まちづくり課職員3名分の視察出張旅費の補正を行う。</p>				<p>職員手当等 児童手当 80千円</p> <p>旅費 普通旅費 396千円</p>		

令和6年第7回定例会

議案説明資料

提出課： まちづくり課

議案番号	102	令和6年度大山町一般会計補正予算(第5号)				
(提案理由 及び 議案概要)						(単位:千円)
款	10 総務費	項	5 総務管理費	目	6 企画費	
事業番号	1385	事業名	空き家対策事業			
補正前	今回補正額	今回補正額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
8,157	5,472	2,735	1,367			1,370
補正理由・事業概要				今回補正額の経費内訳		
<p>特定空家等に認定され、かつ相続人全てが相続放棄している所有者不存在の物件について、隣家及び通学路になっている前面道路に危害を及ぼす可能性があり、早急に対応が必要なため略式代執行を行う経費について補正を行う。</p> <p>○特定空家等(上前谷)残置物処理業務委託料 建物除却を行うにあたって、建物に残存している一般廃棄物・畳・家電製品を処理するための業務委託。平屋建ての母屋及び2階建ての蔵の残置物を処分する費用</p> <p>《委託料》 841千円 負担割合 国1/2・県1/4・町1/4</p> <p>○特定空家等(上前谷)除却工事 平屋建ての母屋及び2階建ての蔵の解体工事費用</p> <p>《工事請負費》 4,631千円 負担割合 国1/2・県1/4・町1/4</p>				<p>委託料 841千円</p> <p>工事請負費 4,631千円</p>		

令和6年第7回定例会

議案説明資料

提出課： まちづくり課

議案番号	102	令和6年度大山町一般会計補正予算(第5号)				
(提案理由 及び 議案概要)						(単位:千円)
款	10 総務費	項	5 総務管理費	目	6 企画費	
事業番号	1507	事業名	家庭用発電設備等導入推進事業			
補正前	今回補正額	今回補正額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
20,000	11,500		3,170			8,330
補正理由・事業概要				今回補正額の経費内訳		
<p>〈事業の内容〉 町内の住宅に家庭用発電設備等を導入する者に対して支援を行うことにより、家庭用発電設備の導入を推進し、分散型のエネルギー供給構造の構築及び地球温暖化対策に貢献する。</p> <p>〈補助内容〉 【対象設備】 太陽光発電システム、薪ストーブ等、蓄電池等 【補助率】 設備本体費用及び設置費用等の1/2 【上限額】 50万円 ※太陽光発電システムについては、家庭用蓄電池と同時に購入する場合は50万円、太陽光発電システムのみは20万円</p> <p>〈補正の理由〉 当初の見込みより申請件数が多く、予算が不足するため</p> <p>〈補正額〉 11,500千円 【内訳】 ・太陽光発電システム 500,000円×10件 ・薪ストーブ等 500,000円×3件 ・蓄電池等 500,000円×10件</p> <p>〈参考〉 令和6年度申請件数(R6.7月末現在) 太陽光発電システム 19件 薪ストーブ等 1件 蓄電池等 21件 【申請額合計】 19,600千円</p>				<p>負担金補助及び交付金</p> <p>家庭用発電設備等導入推進事業補助金 11,500千円</p>		

令和6年第7回定例会

議案説明資料

提出課： まちづくり課

議案番号	102	令和6年度大山町一般会計補正予算(第5号)				
(提案理由 及び 議案概要)						(単位:千円)
款	10 総務費	項	5 総務管理費	目	6 企画費	
事業番号	1592	事業名	住宅用置き配ボックス設置事業			
補正前	今回補正額	今回補正額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
0	200		100			100
補正理由・事業概要				今回補正額の経費内訳		
<p>〈事業の内容〉 町内の住宅に置き配ボックスを設置する者に補助金を交付することにより、置き配ボックスの普及を推進し、再配達を削減することで地球温暖化対策に貢献する。</p> <p>〈補助内容〉 【対象経費】 ・宅配ボックス及び付属品(鍵・錠前、固定具等)の購入に要する費用 ・宅配ボックスの設置、固定に要する費用 【補助率】 1/2 【補助上限】 10,000円</p> <p>〈補正理由〉 鳥取県内における運輸部門の温室効果ガス排出量は他部門と比べて削減が進んでおらず、取り組みが必要なことから令和6年度より新たに県補助金(間接補助)が創設された。県補助金を活用し町補助金を新設する。</p> <p>〈補正件数〉 10,000円×20件 ※県補助金 補助率1/2 住宅一戸あたり上限5,000円</p>				<p>負担金補助及び交付金</p> <p>住宅用置き配ボックス設置事業補助金 200千円</p>		

令和6年第7回定例会

議案説明資料

提出課： まちづくり課

議案番号	102	令和6年度大山町一般会計補正予算(第5号)				
(提案理由 及び 議案概要)						(単位:千円)
款	10 総務費	項	5 総務管理費	目	11 公共交通対策費	
事業番号	33	事業名	デマンドバス事業			
補正前	今回補正額	今回補正額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
73,414	△ 584					△ 584
補正理由・事業概要				今回補正額の経費内訳		
<p>デマンドバス(スマイル大山号)にかかる運行経費</p> <p>○通信運搬費 ・利用者の予約に係る電話料金は町が負担している。 ・R6.4.1から運賃と乗降場所を変更し試験運行を行っていることにより利用者が増加し予約にかかる通話料も増加 ・4月から6月までの利用者1,964人(前年比175%)</p> <p>(年間見込み)265,000円-(予算)144,000円=121,000円</p> <p>○手数料、備品購入費 デマンドバス車両3台分のリース期間満了に伴い、車両を購入するための費用 184,210円×3台=552,630円</p> <p>〈内訳〉 手数料 34,210円×3台分=102,630円 備品購入費 150,000円×3台分=450,000円</p> <p>○使用料及び賃借料 デマンドバス車両3台分のリース期間満了に伴い、車両を購入するためリース費用(6か月分)を減額する。</p>				<p>役務費</p> <p>通信運搬費 121千円</p> <p>手数料 103千円</p> <p>使用料及び賃借料 △ 1,258千円</p> <p>備品購入費 450千円</p>		

令和6年第7回定例会
議案説明資料

提出課： まちづくり課

議案番号	102	令和6年度大山町一般会計補正予算(第5号)				
(提案理由 及び 議案概要)						(単位:千円)
款	10 総務費	項	5 総務管理費	目	11 公共交通対策費	
事業番号	1439	事業名	タクシー助成事業			
補正前	今回補正額	今回補正額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
3,037	14					14
補正理由・事業概要				今回補正額の経費内訳		
<p>〈事業概要〉 高齢者及び一般の交通機関を利用することが困難な障がい者等に、タクシー料金の一部を助成し、住み慣れた地域社会で自立した生活を送ることができるよう支援する。</p> <p>〈補正内容〉 令和6年10月1日から郵便料金に変更になり、また、対象者が当初の見込みを上回ることが想定されるため、登録証を郵送するための郵便料金の補正を行う。</p> <p>当初 84円×356名=30千円 見込み 110円×400名=44千円</p> <p>補正額 44千円-30千円=14千円</p>				<p>役務費</p> <p>通信運搬費 14千円</p>		

令和6年第7回定例会

議案説明資料

提出課： まちづくり課

議案番号	102	令和6年度大山町一般会計補正予算(第5号)				
(提案理由 及び 議案概要)						(単位:千円)
款	10 総務費	項	5 総務管理費	目	12 総務施設管理費	
事業番号	36	事業名	ふれあい倶楽部管理事業			
補正前	今回補正額	今回補正額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
7,942	2,005			1,800		205
補正理由・事業概要				今回補正額の経費内訳		
<p>○友好館事務室・客室・廊下照明LED化工事</p> <p>①客室として使用している和室において、一部照明本体の故障により、一角が薄暗くなっている。客室の設備に不備があるのはサービスを提供している施設として望ましくなく、早急に対応する必要がある。</p> <p>②ロビーから客室まで通じる廊下の照明が数ヶ所切れている。晴天時の日中は特に支障がないが、荒天時や夜間時は薄暗くなる。同仕様の電球も既に生産終了して交換することができない。</p> <p>③事務室に2ヶ所蛍光灯が設置されているが、片側の本体故障により照度がほぼ半分になっている。友好館の職員の事務室となっていることから対応が必要。</p> <p>現行使用している蛍光灯は2027年12月までに全て生産中止となることから、順次照明のLED化は必要となってくる。①～③は特に職員及び宿泊客に影響を及ぼす場所であるからいち早く交換する。</p>				<p>工事請負費 1,914千円</p>		
<p>○友好館事務室複合プリンター</p> <p>現在、事務室に設置してあるFAX、カラープリンター1台が故障している。白黒プリンターが1台あるが老朽化しており、申し込みや問い合わせ業務に支障をきたしていることから、FAX機能を備えたカラープリンターの購入費用の補正を行う。</p>				<p>備品購入費 91千円</p>		

令和6年第7回定例会
議案説明資料

提出課： まちづくり課

議案番号	102	令和6年度大山町一般会計補正予算(第5号)				
(提案理由 及び 議案概要)						(単位:千円)
款	10 総務費	項	5 総務管理費	目	12 総務施設管理費	
事業番号	37	事業名	生活想像館・温泉館管理事業			
補正前	今回補正額	今回補正額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
25,867	3,031			2,300		731
補正理由・事業概要				今回補正額の経費内訳		
生活想像館LED照明器具更新工事 【補正の理由】 既存の照明に対応する蛍光灯の生産が中止となり、館内の照明を一部LED化する必要があるため。				工事請負費 2,301千円		
温泉事業特別会計繰出金 【補正の理由】 温泉館の照明を一部LED化する必要が生じたことから財源補填のために温泉事業特別会計に繰り出しを行う。				繰出金 温泉事業特別会計繰出金 730千円		

令和6年第7回定例会
議案説明資料

提出課： まちづくり課

議案番号	102	令和6年度大山町一般会計補正予算(第5号)				
(提案理由 及び 議案概要)						(単位:千円)
款	10 総務費	項	25 統計調査費	目	2 人口統計調査費	
事業番号	63	事業名	国勢調査調査区設定			
補正前	今回補正額	今回補正額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
115	△ 2		△ 2			0
補正理由・事業概要				今回補正額の経費内訳		
<p>〈事業概要〉 国勢調査の調査員の担当区域を明確にし、重複や脱漏を防ぐことで調査の正確性を期するほか、調査区や基本単位区を地域単位とする各種統計調査の地域確認等にも利用できる。</p> <p>〈補正理由〉 委託費が決定したため</p>				<p>報酬</p> <p>会計年度任用職員報酬 △ 60千円</p> <p>職員手当</p> <p>時間外勤務手当 △ 20千円</p> <p>需用費</p> <p>消耗品費 94千円</p> <p>旅費(費用弁償)</p> <p>会計年度任用職員通勤手当 △ 10千円</p> <p>使用料及び賃借料 △ 6千円</p>		

令和6年第7回定例会
議案説明資料

提出課： まちづくり課

議案番号	102	令和6年度大山町一般会計補正予算(第5号)				
(提案理由 及び 議案概要)						(単位:千円)
款	10 総務費	項	25 統計調査費	目	3 商工統計調査費	
事業番号	69	事業名	全国家計構造調査			
補正前	今回補正額	今回補正額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
1,046	13		13			0
補正理由・事業概要				今回補正額の経費内訳		
<p>〈事業概要〉</p> <p>家計における消費、所得、資産及び負債の実態を総合的に把握し、世帯の所得分布及び消費の水準、構造等を明らかにする。</p> <p>調査日：令和6年10月・11月</p> <p>〈補正理由〉</p> <p>委託費が決定したため</p>				<p>報酬</p> <p>統計調査員報酬 6千円</p> <p>会計年度任用職員報酬 △ 15千円</p> <p>職員手当</p> <p>時間外勤務手当 △ 2千円</p> <p>報償費</p> <p>調査協力記念品 △ 14千円</p> <p>旅費(費用弁償)</p> <p>会計年度任用職員通勤手当 △ 6千円</p> <p>需用費</p> <p>消耗品費 53千円</p> <p>使用料及び賃借料 △ 9千円</p>		

令和6年第7回定例会

議案説明資料

提出課： まちづくり課

議案番号	102	令和6年度大山町一般会計補正予算(第5号)				
(提案理由 及び 議案概要)						(単位:千円)
款	50 教育費	項	20 社会教育費	目	1 社会教育総務費	
事業番号	1510	事業名	公民館建設事業			
補正前	今回補正額	今回補正額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
0	188					188
補正理由・事業概要				今回補正額の経費内訳		
<p>〈事業目的〉</p> <p>老朽化した公民館(大山・名和・中山)の更新計画を立案するため、基本構想策定委員会等を設置し、これからの公民館のあり方や基本構想策定について、町民の意見やアンケートを取り入れながら検討を行う。</p> <p>〈事業概要〉</p> <p>基本構想を策定するため、基本構想策定員会を9回、ワーキングチームを13回開催する。</p> <p>〈補正の理由〉</p> <p>当初計画では、基本構想策定委員会7回、ワーキングチーム9回の開催を予定していたが、事前調査となる住民アンケートやヒアリング、先進地視察に検討を要した。また、両会議とも今後の情報整理において、基本構想策定委員会を2回、ワーキングチームを4回追加して検討する必要があるため増額する。</p> <p>〈補正予算額〉</p> <p>4,700円×40人分=188,000円</p> <p>40人分の内訳</p> <p>基本構想策定委員会 14人×2回=28人分</p> <p>ワーキングチーム 3人×4回=12人分</p> <p>※令和5年度事業繰越予算額 報償費 376,000円</p>				<p>報償費</p> <p>基本構想策定委員会等謝礼金 188千円</p>		

令和6年第7回定例会

議案説明資料

提出課： 名和公民館

議案番号	102	令和6年度大山町一般会計補正予算(第5号)				
(提案理由 及び 議案概要)						(単位:千円)
款	50 教育費	項	20 社会教育費	目	2 公民館費	
事業番号	330	事業名	名和公民館			
補正前	今回補正額	今回補正額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
19,438	108					108
補正理由・事業概要				今回補正額の経費内訳		
<p>名和公民館内にあるすべての消火器の使用年限が本年内(R6.12月)であるため取り換える必要がある。</p> <p>粉末消火器(10型) 10本 @8,000円×10本=80,000円 -① 消費税(10%) 8,000円 -②</p> <p>同上 リサイクルシール 550円×10= 5,500円 -③ 消費税非課税 ①+②+③=93,500円</p> <p>※消火器は製造年から10年経過で容器ごとく換える必要がある。</p>				<p>需用費</p> <p>消耗品費 94千円</p>		
<p>教育委員会事務局事務室内の誘導灯バッテリーが容量不足であるため、交換する必要がある。</p> <p>誘導灯バッテリー交換 1か所 @12,000円×1= 12,000円 -① 消費税(10%) 1,200円 -② ①+②=13,200円</p> <p>※上記は7月11日実施消防器具点検結果の報告事項</p>				<p>修繕料 14千円</p>		